



2023.8~2024.9の

大活躍

新聞記事に見る 土佐女子

(高知新聞記事より)

土佐女子新聞

高知新聞

2023年(令和5年)8月18日(金曜日)

井上(土佐女)無欲のダイブ

驚異の1年生V 最後まで崩れず

優勝を告げるマウン
スが流れた瞬間、周りの
選手から祝福を受けた井
上。はにかむような笑顔
はあったが、はじけるよ
うな喜びは見せなかつ
た。無欲のダイブが1年
生優勝という快挙をたぐ
り寄せた。

また「高飛び込みは怖
い」と話す。それもそ
う。中学生になって半年

もたっていないのだ。鍵
となったのは準選2本目
の後ろ飛び。きれいな空
中姿勢が評価され、10点
満点の5点という高いジ
ヤッジが続出。いつもは
失敗するので成功して
ホッとしたり。その後も乱
れぬ試技を続けた。この
日、ライバルたちは高得
点を出しても、続く試技
で極端な失敗が多かつ

た。気付けば準選でトッ
プに立っていた。

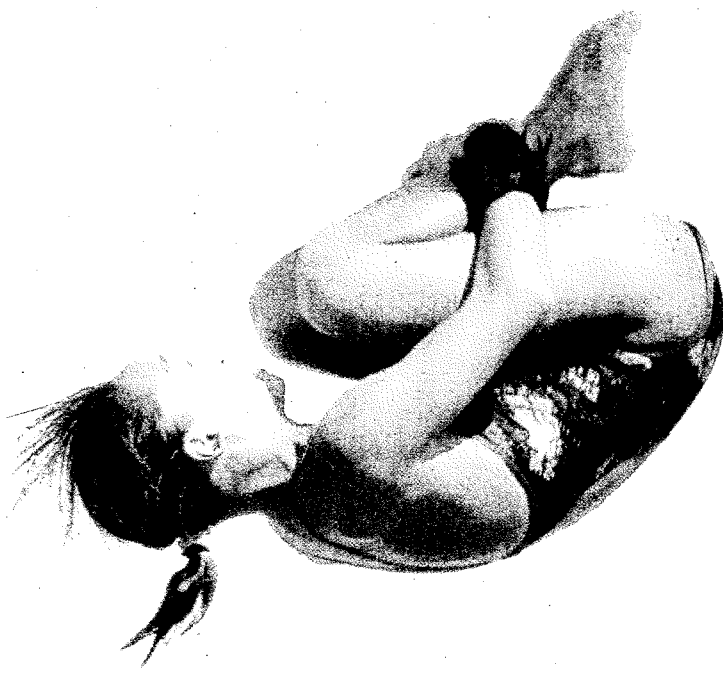
決勝の登壇順は最後。
順位を守ろうと意識し過
ぎると、厳しい戦いにな
る。瓶子笑里佳コーチは
「技を決めよ」としない
で」と自然体で臨むよう
声をかけた。

恩師の思いを冷静に受
け取った井上は、高得点
こそマークできなかった

ものの、大きなミスがな
い。最終試技で地元香川
の選手が70点をマーク
し、迫ってきたが、「大失
敗しなければ大丈夫(井
上)48・60点でまとめ、
逃げ切った。

井上の強みは、空中で
の安定した動き。手の伸
ばし、足先の動きなどに
乱れない。得点のばら
つき選手が目立つ中、井
上は最後まで崩れなかつ
た。

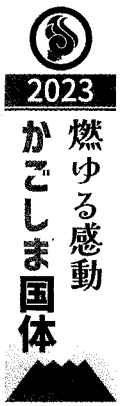
安定感の原点は練習熱
心さ。本人が納得しなけ
れば、何度でも飛び込
台に上がります(瓶子コ
ーチ)。飽くなき探究心で
ぐんぐん力を付けてき
た。もっと強くなりた
い。次は得意の板飛び込
み。いやが上にも期待が
膨らむ。(吉川博之)



【女子高飛び込み決勝】トータル304.95点をマークし、初優勝した井上優奈の試技(香川県立総合水泳プール)

2024年(令和6年)7月15日(月曜日)

2023年(令和5年)9月24日(日曜日)



国民体育大会「燃ゆる感動かごしま国体」は23日、鹿児島市鴨池公園プールなどで会期前競技を行った。県勢では競泳の少年女子A400個人メドレーで山本礼羅(土佐女高)が3位に入った。競

泳の県勢入賞は8年ぶり、表彰台は2002年高知国体の少年男子A400個人メドレーで藤本翔大(高知商高)が優勝して以来。

- ▽400個人メドレー予選
④山本礼羅(土佐女高) 4分52秒51 決勝進出
- ▽決勝 ①鈴木彩心(愛知) 4分42秒17 ③山本礼羅(土佐女高) 4分47秒67 ②豊川高
- ▽400個人メドレー予選
④山本礼羅(土佐女高) 4分52秒51 決勝進出
- ▽決勝 ①鈴木彩心(愛知) 4分42秒17 ③山本礼羅(土佐女高) 4分47秒67 ②豊川高

山本(土佐女高)400個メ3位 自身も驚く会心レース

昨夏に本県で開催されたインターハイは、予選である四国高校選手権を欠場したため出られなかった。原因となった腰痛はまた完治していない。そんな中で、県勢競泳陣21年ぶりの表彰台という快挙。山本は「こんな結果が出るとは！」と驚きで声を上げさせた。鹿児島入りして最初の

4位と表示された電光掲示板が視界に入った。この200メートル平泳ぎ。予選落ちでアドレナリン全開。もう1人を抜いて、前日好タイムを出した平泳ぎに入るとさらに加速し、一時2位に躍り出た。最後の自由形では、息継ぎの時に隣の選手が見えた。競り合いに敗れてしまったが「その選手が3位かと思っていて、ゴ

飛び込み3人 全国へ

飛び込みは板飛び込みと高飛び込みで男子の瓶子礼智(高知商)、女子の嶋崎菜乃(土佐女)と柳川小夏(土佐女)がいずれも全国出場の標準点を突破した。

(井上太郎)

全国高校総体(8月17〜20日・佐賀県など)の予選を兼ねた水泳の四国高校選手権最終日は14日、競泳の男女16種目を香川県総合プール、飛び込みを春野プールで行った。個人は女子100メートル平泳ぎの栗山陽菜(土佐女)が標準記録を破る1分11秒99で制した。

飛び込みは板飛び込みと高飛び込みで男子の瓶子礼智(高知商)、女子の嶋崎菜乃(土佐女)と柳川小夏(土佐女)がいずれも全国出場の標準点を突破した。

- ▽競泳
⑨時現在のプールコンディション
気温25・9度、水温27度
- ▽100メートル平泳ぎ ①栗山陽菜(土佐女) 1分11秒99 標準突破

- ▽飛び込み
①女子3メートル板飛び込み 嶋崎菜乃(土佐女) 40.35点 標準突破
- ②女子3メートル高飛び込み 柳川小夏(土佐女) 30.50点 標準突破
- ③男子3メートル高飛び込み 柳川小夏(土佐女) 30.85点 標準突破

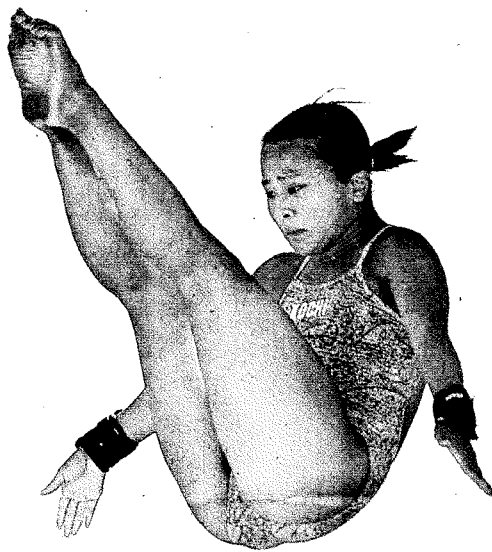
2024年(令和6年)9月15日(日曜日)

佐賀2024国スポ

国民スポーツ大会は14日、佐賀県SAGAサンライズパーク水泳場などで会期前の4競技が行われた。

柳川(土佐女高)は少年3位

「楽しんで良い演技を」 彰台を素直に喜んだ。大舞台に臨んだ柳川が「宙返りとかはけっこう大健闘の3位。望外の表う重くて」。ただ、入水は



【少年女子高飛び込み】3位に入った柳川小夏の試技

ツシユで得点を積み上げた。エビ型の入水の仕方を愛したのも奏功したという。

4本中3本は全国高校総体の自由選択でも飛んだ技。残りの1本は、総体の時よりも難易度を少し落とした「前宙返り2回半エビ型」にした。難度を上げて高得点を狙うより「確実に決められるように」と選んだ技を2本目に飛び48・30点。1本目の51・80点から良い流れを手放さなかった。

4本目に得点を伸ばし切れず、10・35点差で2位に届かなかった悔しさはある。それでも今季を振り返り「みんなの応援もあり、すごく楽しかった。いい高3の夏でした」と充実感をにじませた。(馬場 隼)

2023年(令和5年)9月2日(土曜日) 2024年(令和6年)7月28日(日曜日)

栗山女子50平県新

水泳

県選手権

水泳の県選手権は27日、くろしおアリーナで開幕。女子50平泳ぎで栗山陽菜(土佐女高)が予選で32秒96、決勝で33秒07のいずれも県新、県高校新記録を出した。(午前10時現在のプールコ

ンパイション)室温29度、水温28.3度

【女子】

▽100平自由形 ①栗山陽菜(土佐女高) 59秒09 ②浜渦(高知商高) 1分0秒35 ③宮前(県大) 1分0秒91

▽50平泳ぎ ①栗山陽菜(土佐女高) 33秒07 ②県新(土佐女高) 32秒96 ③栗山陽菜(土佐女高) 32秒96 ④栗山陽菜(土佐女高) 32秒96 ⑤栗山陽菜(土佐女高) 32秒96

▽400平個人メドレー ①松井遥南(土佐女高) 5分21秒 ②草鹿(土佐塾中) 5分23秒 ③中村(JSS) 5分24秒 ④中村(JSS) 5分24秒 ⑤中村(JSS) 5分24秒

◆予選の好記録◆

▽50平泳ぎ 栗山陽菜(土佐女高) 32秒96 ②県新(土佐女高) 32秒96 ③栗山陽菜(土佐女高) 32秒96

中1井上(土佐女)板4位



井上優奈

飛び込み 日本選手権

世界選手権(来年2月・ドーハ)代表選考を兼ねる飛び込みの日本選手権が1日、宇都宮市の日環アリーナ栃木で開幕し、女子3級板飛び込みで井上優奈(土佐女中1年)高知SC)が4位入賞を果たした。

井上「目標オリンピック」

土佐女中1年の井上がこの日臨んだのは、パリ五輪出場を目指す社会人や大学生、高校生を相手にしたハイレベルな戦いだった。決勝に進めたらいいなあ」と気負わず乗り込んだ大舞台。決勝どころか、表彰台まであと一歩に迫る大健闘に「びっくりしてます」。そして「うれしい」と入賞をかみしめた。

8月の全国中学校体育大会で2冠を達成した実力者ではあるが、「五輪に

井上(高知SC)板6位

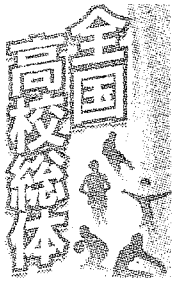
飛び込み 日本選手権

飛び込みの日本選手権は30日、滋賀県のインテリア草津アクアテイクセンターで開幕し、女子3級板飛び込みは井上優奈(高知SC)土佐女中2年)が23・00点で6位入賞した。パリ五輪代表の三上紗也可(日体大)が39・40点で3連覇した。榎本遼香(栃木トヨタ)が28・65点で2位。

連年入賞にも冷静

○全中、全国JOC夏季とも板、高2冠と同等代との戦いを制した井上。社会人や大学生と競う日本選手権も、板で2年連続入賞を果たした。それでも従来のパフォーマンスを出せなかった試技もあり、昨年の4位には届かなかっただけに満足はせず、31日の高に臨む。

全5本の試技で、審判



柳川(土佐女)も6位入賞

全国高校総体(インタ1ハイ)は19日、大分県別府市青山プールなどで水泳3種目が行われた。高知県勢は女子板飛び込みの嶋崎菜乃(土佐塾)が2位で表彰台に立ち、柳川小夏(土佐女)も6位。ともに17日の高飛び込みに続いての入賞となった。

柳川(土佐女)も5位入賞

全国高校総体(インタ1ハイ)は17日、大分県別府市青山プールなどで水泳3種目が行われた。高知県勢は女子高飛び込みで嶋崎菜乃(土佐塾)が4位、柳川小夏(土佐女)が5位入賞した。

員の採点をいずれも10点満点中5点以上でまとめたが、「大失敗はないけど、めちゃくちゃいいわけではない」。高得点を積み上げた上位勢との差を冷静に振り返った。

より高い得点や順位を狙い、「欲張った部分もあり、いつも通りでなかった」と反省。高得点は「順位を気にせず、目の前の1本に全力を出す」と力を込めた。(馬場 隼)

2024年(令和6年)8月7日(水曜日)

全国高校総体

石川・西岡(土佐女)8強



ダブルスで8強に入った土佐女の石川実鈴(前)・西岡綾夏(左) (長崎県大村市体育文化センター)

県トップ意地の1ゲーム

ライバルの明徳勢を次々と破り、県トップで臨んだ石川・西岡の土佐女2年生ペア。全国の大舞台でも、実力を発揮して8強に食い込んだ。台の前でボールをさばく石川、後ろからのドライブで攻める西岡。異なるスタイルのコンビネーションで崩し、初戦から3戦連続ストレート勝ち。九州大会8強や4強の強敵を退けてきた。ただ、準々決勝はカットを交えてくる滋賀学園ペアに苦戦。2ゲーム連取され、3ゲーム目も6-10とマッチポイントを握られた。諦めかけたけど、やるしかない(西岡)。意地の反撃でジュースに持ち込み、14-12と一矢報いた。この1ゲームは、ペアにとつて大きな糧になりそう。そして「来年は絶対、県体で団体優勝する」と石川。何よりの目標とする団体での全国総体出場へ力を込めた。(馬場 隼)

Table with match results for various categories: 卓球, 同シングルス1回戦, 同シングルス2回戦, 同ダブルス4回戦, 準々決勝. Includes names like 西岡綾夏, 石川実鈴, and scores.

2024年(令和6年)6月16日(日曜日)

2024年(令和6年)5月20日(月曜日)

県高校体育大会

女子複は石川実・西岡(土佐女)

Table showing match results for the 2024 prefectural high school sports meeting, including names like 明徳, 土佐女, and scores.

Table showing match results for the 2024 prefectural high school sports meeting, including names like 渡辺, 青井, and scores.

Table showing match results for the 2024 prefectural high school sports meeting, including names like 石川実, 西岡実, and scores.

四国高校選手権

女子複は土佐女

Table showing match results for the Shikoku high school tournament, including names like 明徳, 香川, and scores.

Table showing match results for the Shikoku high school tournament, including names like 立川, 石川実, and scores.

Table showing match results for the Shikoku high school tournament, including names like 石川実, 西岡実, and scores.

2024年(令和6年)8月24日(土曜日)

全国中学校体育大会(全中)は23日、福井県敦賀市総合運動公園野球場などで7競技を行った。軟式野球では高知が6年ぶりの優勝。卓球団体は明德義塾の男女と土佐女の県勢3チームがいずれも予選リーグを突破し、24日からの決勝トーナメントに進んだ。

全国中学大会

土佐女 決勝ト進出

▽女子団体1次リーグ 「J組」

| | | |
|-----|-----|-------|
| 土佐女 | 4-1 | 中津緑ヶ丘 |
| 土佐女 | 4-1 | 大山 |
| 土佐女 | 4-1 | 福山 |
| | | 二島 |

8月25日(日曜日)

土佐女は決勝トーナメント1回戦でみなかみ(群馬)に2-3で競り負け、準々決勝に進めなかった。

▽女子団体決勝トーナメント1回戦

| | | |
|------------|-----|-------|
| 明德義塾 | 3-0 | 三本木 |
| みなかみ | 3-2 | 宮城 |
| 群馬 | 3-2 | 土佐女 |
| ▽準々決勝 | | |
| 星槎 | 3-1 | 明德義塾 |
| 神奈川 | 3-1 | 明德義塾 |
| ▽同シングルス1回戦 | | |
| 庄司野乃 | 3-1 | 西岡琉夏 |
| 佳手・姥 | 3-1 | 土佐女 |
| 屋敷 | 3-1 | 土佐女 |
| 松本結鶴 | 3-2 | 末森結愛 |
| 王佐女 | 3-2 | 静岡・浜松 |
| | | 松修学舎 |
| ▽2回戦 | | |
| 大岩悠乃 | 3-1 | 松本結鶴 |
| (東京・武蔵野) | | 王佐女 |

2024年(令和6年)8月5日(月曜日)

土佐女2位

四国中学総体

▽女子団体準決勝

| | | |
|-----|-----|----|
| 土佐女 | 3-0 | 北徳 |
| 明徳 | 3-0 | 愛日 |
| | | 吉島 |

▽決勝

| | | |
|-----|-----|-----|
| 明徳 | 3-0 | 土佐女 |
| 駒瀨 | 3-2 | 松本結 |
| 大吉 | 3-0 | 久保 |
| 伊水元 | 3-0 | 浜村 |
| 伊東 | 3-0 | 松本心 |

明徳は4年連続19度目の優勝

▽同個人代表決定戦 水ノ江(明徳)3-2宮崎智(香・香東) 3-0寺野(明徳)

▽準々決勝 松本結(土佐女)3-1伊東(明徳) 西岡(土佐女)3-1加島(徳・北島) 大(明徳)3-1藤野(徳・城東) 駒瀨(明徳)3-0水元(明徳)

▽準決勝

| | | |
|-------|-----|----|
| 松本結 | 3-1 | 西岡 |
| 大(明徳) | 3-0 | 駒瀨 |

▽決勝

| | | |
|-------|-----|-----|
| 大(明徳) | 3-0 | 松本結 |
| 吉 | 3-1 | 松本結 |
| 11111 | | |
| 489 | | |
| 0 | | |

2024年(令和6年)7月25日(木曜日)

県中学総体

▽決勝リーグ

| | | |
|-----|-----|----|
| 明徳 | 3-0 | 西土 |
| 土佐女 | 3-0 | 城西 |
| 明徳 | 3-0 | 城西 |
| 土佐女 | 3-0 | 城西 |
| 明徳 | 3-1 | 城西 |
| 土佐女 | 3-1 | 城西 |
| 明徳 | 3-1 | 城西 |
| 土佐女 | 3-1 | 城西 |
| 明徳 | 3-1 | 城西 |
| 土佐女 | 3-1 | 城西 |
| 明徳 | 3-1 | 城西 |
| 土佐女 | 3-1 | 城西 |

▽女子シングルス準々決勝

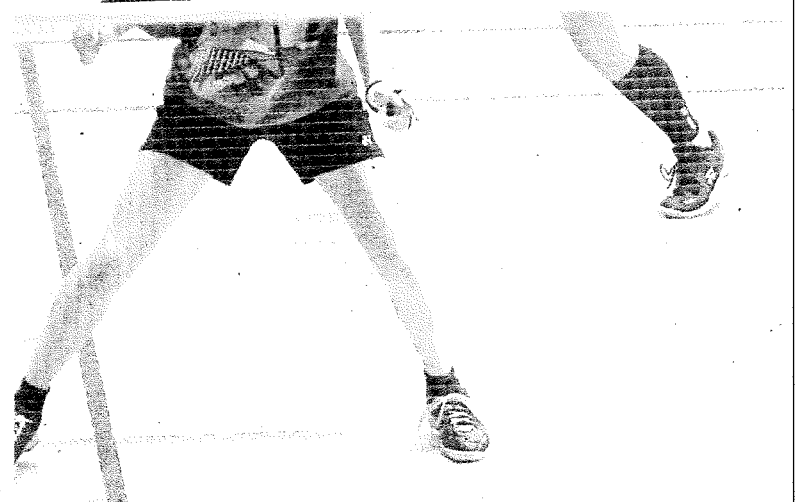
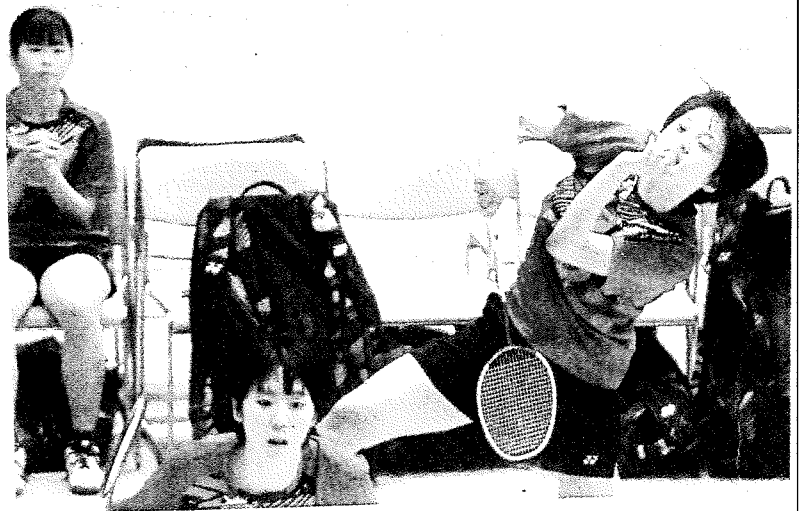
| | | | |
|------|------|------|-----|
| 駒瀨 | (明徳) | 3-0 | 水ノ江 |
| (明徳) | 村田 | (明徳) | 3-1 |
| 0 | 市場 | (明徳) | 3-1 |
| 3 | 水元 | (明徳) | 3-1 |
| 3 | 松本結 | (明徳) | 3-1 |
| 3 | 松本結 | (明徳) | 3-1 |
| 3 | 松本結 | (明徳) | 3-1 |

▽順位 ①明徳(吉田、駒瀨) ②水元、村田、市 ③伊東、水ノ江、3勝④土佐女 ⑤水ノ江、3勝⑥城西 ⑦城西 ⑧城西 ⑨城西 ⑩城西 ⑪城西 ⑫城西

明徳は14年連続19度目の優勝



土佐女4連覇



【女子団体決勝 土佐女一岡豊】第1複を2-0で制し、優勝を決めた土佐女の安岡=右・西森ペア (天王体育館=新田祐也撮影)

▽女子団体1回戦 学芸3-0香北▽国際3-0丸の内
 ▼中央3-0高知農
 ▼2回戦 土佐女3-0学芸
 ▼準決勝 土佐女3-1春野▼東3-0山田▼小津3-1安芸▼土佐3-2園際▼高知商3-0中村▼追手前3-0伊野商▼岡豊3-2中央
 ▼準々決勝 土佐女3-0宿毛▼小津3-1東▼土佐3-2高知商▼岡豊3-1追手前

思うままゲーム支配 土佐女

ズドンとスマッシュをしまくる。その攻撃はコートに突き刺したかと思えば、ふんわり短いショットをほとりと落とす。47度目の頂点に立った土佐女が緩急を使っていた。ショットを落とすに相手はチャンスボールを上げさせた。2人に動かさず、ゲームを支配。第1複の安岡と西森は「やりたいプレーが出せた」と笑顔で胸を張った。

見せ場は岡豊のリースペアとぶつかった決勝。試合の入りから安岡が重く、鋭いスマッシュで押

それでも「全国で戦うにはまだ力が足りない」と安岡。昨夏の全国高校総体や春の全国選抜大会は初戦で敗れた。全国選手はスマッシュが速い。コートも打ち分けられていた。レベルが違った。連係プレーを強化して苦手なコースを見直すと、全国で戦う力を蓄えてきた。

「自分たちのやりたいプレーを全国でも出した

▽決勝 土佐女3-0岡豊
 西岡 2-0 伊藤
 森口 2-0 山本
 安田 2-0 久保
 伊藤 2-0 中田
 岡豊は4年連続47度目の優勝

2024年(令和6年)5月20日(月曜日)

| | | | |
|------------------------|----------------------|----------------------|----------------------|
| 安岡・西森夕(土佐女) 2-1 中島(中央) | 伊藤・山本(岡豊) 2-0 石黒(西本) | 伊藤・山本(岡豊) 2-0 石黒(西本) | 伊藤・山本(岡豊) 2-0 石黒(西本) |
| 安岡・西森夕(土佐女) 2-1 中島(中央) | 伊藤・山本(岡豊) 2-0 石黒(西本) | 伊藤・山本(岡豊) 2-0 石黒(西本) | 伊藤・山本(岡豊) 2-0 石黒(西本) |

2024年(令和6年)6月16日(日曜日)

四国高校選手権

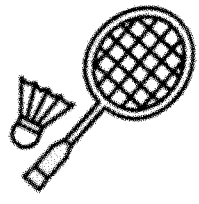
▽女子団体1回戦 新田3-0城南▼英明3-0岡豊▼高松西3-0土佐▼城東3-0新居浜南▼土佐女3-0坂出▼新居浜東3-0徳島市立▼新居浜西3-1徳島商▼高松商3-0小津

▽準々決勝 新田3-0英明▼高松西3-0城東▼新居浜東3-1土佐女▼高松商3-2新居浜西

全国高校総体

| | | | | | | | | | | | | | | | |
|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|
| 安岡 2-1 猪清 | 伊藤 2-1 高瀬 | 山本 2-1 古田 | 石黒 2-1 山田 | 西岡 2-1 清水 | 森口 2-1 諫山 | 伊藤 2-1 山田 | 山本 2-1 古田 | 石黒 2-1 山田 | 西岡 2-1 清水 | 森口 2-1 諫山 | 伊藤 2-1 山田 | 山本 2-1 古田 | 石黒 2-1 山田 | 西岡 2-1 清水 | 森口 2-1 諫山 |
|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|

2024年(令和6年)8月3日(土曜日)



2024年(令和6年)7月14日(日曜日)

県中学総体

土佐女V2

第78回県中学校総合体育大会(県中学総体)が、

13日開幕し、春野体育館でバドミントンの団体戦を行った。男子は一宮、女子は土佐女がいずれも2年連続の優勝を果たした。14日はバドミントンの個人戦を実施。残り18競技は20~26日に行われ

兵等2-0 黒岩
 (一宮は2年連続4度目の優勝)
 女子団体1回戦 一宮2-1 愛宕
 2回戦 土佐女2-0-1 城西2-0 神谷
 春野2-0 本川
 土佐2-1 大川
 宿毛2-0 潮江
 学芸2-0 嶺北
 横内JBC(不戦勝)

赤岡 土佐塾2-0 伊野
 準々決勝 土佐女2-0 城西
 土佐2-1 春野
 宿毛2-1 学芸
 横内JBC2-1 1土佐塾
 準決勝 土佐女3-0 土佐
 横内JBC 2-1 宿毛
 優勝 土佐女2-0 横内JBC
 松田 2-0 弘立
 森 2-0 松石
 松本 2-0 田中
 (土佐女は2年連続28度目の優勝)

| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|----------|------------|-----------|----------|----------|----------|------------------|------------------|--------------------|-------------------|-----------------|-----------------------|------------------|--------------|---------------------|-------------|-------------|-------------|-------------|---------------------------------|--------------------|-------------------|--------------------|
| 松田 2-1 森 | 大久保 2-0 谷武 | 田中 2-0 中心 | 田中 2-1 千 | 松田 2-1 森 | 松田 2-1 森 | 林(宿毛) 2-1 0 嶋山・岡 | 横内JBC 2-1 0 嶋山・岡 | 吉井学芸 2-1 0 田中千・田中心 | 芝・浅野(一宮) 2-1 0 山本 | 佐女2-0 高橋・大谷(愛宕) | 長岡里(宿毛) 2-0 久武・大谷(土佐) | 田・森(土佐女) 2-0 長岡杏 | 同ダブルス準々決勝 松本 | 三好2-1 25-10 23-0 松本 | 上総 2-1 1 久保 | 松本 2-1 1 久保 | 三好 2-1 0 上総 | 松本 2-1 1 久保 | 女子シングルス準々決勝 上総(土佐山) 2-0 松田(土佐女) | 三好(横浜) 2-0 門田(土佐山) | 久保(潮江) 2-0 増田(清水) | 松本(土佐女) 2-0 大原(神谷) |
|----------|------------|-----------|----------|----------|----------|------------------|------------------|--------------------|-------------------|-----------------|-----------------------|------------------|--------------|---------------------|-------------|-------------|-------------|-------------|---------------------------------|--------------------|-------------------|--------------------|

2024年(令和6年)8月4日(日曜日)

四国中学総体

県勢4強まで

女子団体1回戦 土佐女3-0 富田(徳) ZEST(愛) 2-1 香川スクール(徳) 2-1 PEPPS(愛) 木太(香) 3-0 横内JBC
 準決勝 ZEST 2-0 土佐女 木太 2-1 徳島
 女子シングルス準々決勝 芝(愛・広見) 2-0 松本(土佐女) 久保(徳島) 2-1 上総(土佐山学舎) 三好(横浜) 2-1 石原(香・勝賢)
 同ダブルス準々決勝 菅・高橋(愛・ZEST) 2-1 松田・森(土佐女)

2024年(令和6年)5月6日(月曜)

土佐女が3連覇

県中学春季

バドミントンの県中学春季大会第1日は5日、春野体育館で男女団体戦と個人戦の一部を行った。団体は女子の土佐女が3連覇、男子は土佐女が2年ぶりの優勝を果たした。
 土佐女は初戦の2回戦から全4試合ともストレート勝ち。決勝は横内JBCを2-0で破った。
 女子団体1回戦 潮江2-0 本川 一宮2-0 城北
 春野2-1 城東 横内JBC 3-0 伊野
 2回戦 土佐女2-0 潮江 南海2-1 城西 土佐2-0 愛宕 土佐塾2-1 一宮 学芸2-1 春野 嶺北2-0 介良 土佐山2-0 大川 横内JBC 2-1 宿毛
 準々決勝 土佐女2-0 南海 土佐2-0 土佐塾 学芸2-0 嶺北 横内JBC 2-1 土佐山
 準決勝 土佐女2-0 土佐 横内JBC 2-1 学芸
 3位決定戦 土佐2-1 学芸
 決勝 土佐女2-0 横内JBC
 松本 2-0 原田

| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|----------|------------|-----------|----------|----------|----------|------------------|------------------|--------------------|-------------------|-----------------|-----------------------|------------------|--------------|---------------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------------------------|--------------------|--------------------|-------------------|
| 松田 2-1 森 | 大久保 2-0 谷武 | 田中 2-0 中心 | 田中 2-1 千 | 松田 2-1 森 | 松田 2-1 森 | 林(宿毛) 2-1 0 嶋山・岡 | 横内JBC 2-1 0 嶋山・岡 | 吉井学芸 2-1 0 田中千・田中心 | 芝・浅野(一宮) 2-1 0 山本 | 佐女2-0 高橋・大谷(愛宕) | 長岡里(宿毛) 2-0 久武・大谷(土佐) | 田・森(土佐女) 2-0 長岡杏 | 同ダブルス準々決勝 松本 | 三好2-1 21-14 19-0 松本 | 上総 2-1 1 久保 | 松本 2-1 0 久保 | 三好 2-1 0 上総 | 松本 2-1 0 久保 | 女子シングルス準々決勝 三好(横浜) 2-0 大石(愛宕) | 上総(土佐山) 2-0 山中(南海) | 松本(土佐女) 2-0 岩田(朝意) | 佐女(潮江) 2-0 松田(土佐) |
|----------|------------|-----------|----------|----------|----------|------------------|------------------|--------------------|-------------------|-----------------|-----------------------|------------------|--------------|---------------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------------------------|--------------------|--------------------|-------------------|

2024年(令和6年)7月21日(日曜日)



【女子団体決勝リーグ】36年ぶりに優勝した土佐女の瀬戸佐=後方・川崎ペア(東部コート=井上太郎撮影)

土佐女36年ぶりV

ソフトテニス

(東部コート)

▽女子団体予選トナメントA組1回戦 宿毛東3-0 城東▽2回戦 S×CREW 3-0 宿毛東▽青柳2-1 窪川▽代表決定戦 S×CREW 2-0 青柳

▽同B組1回戦 清水3-0 潮江▽朝倉3-0 安芸▽代表決定戦 清水2-0 朝倉

▽同C組1回戦 西部2-1 鏡野▽中村3-0 付属▽代表決定戦 中村2-1 西部

▽同D組1回戦 春野2-1 須崎▽土佐女3-0 大方▽代表決定戦 土佐女2-0 春野

▽決勝リーグ

土佐女 2-1 清水
S×CREW 3-0 清水
EWC 3-0 清水

土佐女 2-1 S×CREW
EWC

【順位】①土佐女(瀬戸佐、川崎、小松、浜田、坂吉、樋口、小原、瀬戸七) 3勝②S×CREW 2勝1敗③清水 1勝2敗④中村 3敗(土佐女は36年ぶり6度目の優勝)

2023年(令和5年)11月5日(日曜日)

2024年(令和6年)7月22日(月曜日)

土佐女は2年ぶり栄冠

瀬戸佐・川崎(土佐女)V

ソフトテニス

(東部コート)

▽女子個人準々決勝 松野下・今井(S×CREW) 4-1 中岡・川島(春野)▽平地・田淵(S×CREW) 4-2 小松・浜田(土佐女)▽水野・宮川(S×CREW) 4-1 池田・中城(朝ヶ丘)▽瀬戸佐・川崎(土佐女) 4-1 西村・弘瀬(S×CREW)

▽準決勝
田淵 4-2 松野
川崎 4-1 今井
瀬戸 4-1 宮水
川崎 4-2 田淵

|| 競技終了

土佐女39年ぶりV

ソフトテニス

県中学冬季

ソフトテニスの県中学冬季大会第1日は4日、東部コートで団体戦を行い、男子は明德義塾が2年ぶり3度目の優勝、女子は土佐女が39年ぶり2度目の優勝を果たした。

▽女子団体1回戦 片島2-1 愛宕 西部3-0 高岡 大方(不戦勝) 学芸 潮江3-0 小筑紫 鏡野2-1 宿毛 須崎3-0 青柳 中村3-0 旭 清水2-1 城東 春野 2-1 戸波 野市2-1 清水 丘 宿毛東(不戦勝) 城西 朝倉3-0 窪川 中村西3-0 付属 横浜2-1 三原

▽2回戦 土佐女3-0 片島 西部2-1 大方 潮江2-1 鏡野 中村2-1 須崎

▽準々決勝
清水2-0 春野 野市2-1 宿毛東 中村西2-1 朝倉 県中村2-1 横浜

▽準々決勝 土佐女2-0 西部 中村2-1 潮江 清水2-0 野市 中村西2-1 泉

▽進決勝
土佐女 2-1 中村
清水 2-1 中村
土佐女 2-1 清水

▽決勝
土佐女 4-2 小川
樋口 0-4 山本
小原 4-0 大浦
瀬戸 4-0 吉松
浜田 2-1 北代
土佐女 2-1 清水

県高校体育大会

ソフトテニス

(東部コート)

2024年(令和6年)5月19日(日曜日)

| | | | | | | | | | | | |
|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-------|-------|--------|-------|-------|----------|
| 高湊 | 上東 | 明徳 | 明徳 | 土佐女 | 明徳 | 多慶 | 2-1中村 | 知商 | 農 | 3-0宿毛 | ▽女子団体1回戦 |
| 橋本 | 田 | 徳 | 徳 | 女 | 徳 | 岡豊 | 1中村 | 商 | 高知商 | 3-0中村 | 幡多農 |
| 4-0 | 4-0 | 2-0 | 2-0 | 2-0 | 2-0 | 3-0学芸 | 土佐女 | 3-0追手前 | 3-0高知 | 3-0 | 幡多農 |
| 菜水 | 西北 | 土佐女 | 岡 | 小 | 小 | 津 | 3-0高 | 明徳 | 3-0 | 3-0 | 幡多農 |
| 虫野 | 内原 | 女 | 津 | 豊 | 豊 | 豊 | 高 | 3-0 | 3-0 | 3-0 | 幡多農 |

2024年(令和6年)7月27日(土曜日)

| | | | | | |
|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
| 修福 | 福原 | 川原 | 愛知 | 塩沢 | 動公園 |
| 誠 | 永原 | 永原 | 豊 | 沢辺 | かき |
| 4-3 | 4-1 | 4-1 | 4-1 | 4-1 | かき |
| 王 | 西北 | 王 | 小野 | 小野 | かき |
| 佐 | 内原 | 佐 | 佐 | 佐 | かき |
| 玄 | 玄 | 玄 | 玄 | 玄 | かき |

全国高校総体

2024年(令和6年)6月16日(日曜日)

| | | | | | |
|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
| 治北 | 高瀬 | 高瀬 | 高瀬 | 高瀬 | 高瀬 |
| 2-0 | 2-0 | 2-0 | 2-0 | 2-0 | 2-0 |
| 高松商 | 高松商 | 高松商 | 高松商 | 高松商 | 高松商 |
| 高松商 | 高松商 | 高松商 | 高松商 | 高松商 | 高松商 |
| 高松商 | 高松商 | 高松商 | 高松商 | 高松商 | 高松商 |
| 高松商 | 高松商 | 高松商 | 高松商 | 高松商 | 高松商 |

四国高校選手権

2024年(令和6年)1月15日(月曜日)

ソフトテニス

全日本高校選抜四国予選

▽同2位リーグ 今治北3

1-0富岡東 土佐女2-1高松商

今治北3-0高松商

富岡東2-1土佐女 高松商2-1富岡東

今治北2-1土佐女

【順位】①今治北3勝②土佐女1勝2敗③高松商1勝2敗④富岡東1勝2敗

※2-4位は得失ゲーム差による

2023年(令和5年)11月19日(日曜日)

ソフトテニス

全日本高校選抜県予選

▽女子団体予選A組代表決定戦 明徳3-0小津

▽同B組代表決定戦 幡多農3-0高知商

▽同C組代表決定戦 土佐女2-1高松商

▽同D組代表決定戦 中村3-0高知商

▽決勝リーグ 明徳3-0幡多農 土佐女3-0中村 明徳3-0土佐女 中村2-1幡多農 明徳3-0中村

土佐女2-1幡多農

【順位】①明徳(湊本、東、佐藤、酒井、高橋)上田、今橋、倉橋)3勝②土佐女2勝1敗③中村1勝2敗④幡多農3敗

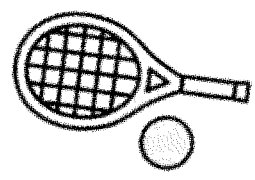
2024年(令和6年)8月23日(金曜日)

北原・山崎

▽女子準々決勝 佐藤・上田(明徳)4-1菜虫・西山(土佐女) 滝本・山本(明徳)4-0松本・久保田(小津) 北原・山崎(土佐女)4-2弘瀬・岡部(明徳) 岡部・今橋(明徳)4-1水野・小松(土佐女)

▽準決勝

| | | | |
|-----|-----|-----|-----|
| 山北 | 山北 | 上佐 | 上佐 |
| 4-2 | 4-2 | 4-3 | 4-3 |
| 今橋 | 今橋 | 山崎 | 山崎 |
| 今橋 | 今橋 | 山崎 | 山崎 |
| 今橋 | 今橋 | 山崎 | 山崎 |



2024年(令和6年)7月22日(月曜日)

県中学総体



▽女子1回戦 土佐女2-0葉山▽土佐町・嶺北2-0久礼・大野見▽鏡野2-0潮江▽西部2-0安芸・県安芸▽朝ヶ丘2-0横濱▽宿毛・宿毛東2-0土佐▽中村2-0春野▽大正2-0中村西▽大方・西土佐2-0加茂▽池川・仁淀2-0羽根・田野・北川▽まほろば南国2-0窪川▽朝倉2-0甲浦▽片島2-0佐川▽越知2-0高知▽野市2-0介良▽香長2-0愛宕

土佐女は2年ぶり栄冠

8月4日(日曜日)

Table with 4 columns: 攻, プ, サ, 失. Rows include 吉西結, 本内城, 谷久, 赤前池, 平久, 赤西山, 西山沢, 計. Includes sub-table for 大方・西土佐.

▽女子準々決勝 土佐女2-0西部▽大正2-0朝ヶ丘▽大方・西土佐2-0朝倉▽香長2-0越知

四国中学総体

土佐女準決

土佐女3位

▽女子1回戦 香川1-2大方・西土佐▽松山西(愛)2-1小松島南(徳)▽土佐女2-0鳴門一(徳)▽松山東雲(愛)2-0リアンテーナ(香)

2024年(令和6年)5月14日(火曜日)

バレーボールの県中学春季大会最終日は12日、春野体育館で行われ、男子は香長が12年ぶり、女子は土佐女が3年連続の優勝を果たした。

2024年(令和6年)5月21日(火曜日)

県高校体育大会

4強出そろった

▽女子決勝 トーナメント1回戦 安芸2-0丸の内▽追手前2-1東

四国高校選手権

6月16日(日曜日)

▽女子1回戦 松山東雲2-0土佐女▽城南2-0志度▽明徳2-0鳴門▽高松商2-0松山商▽高知2-0富岡

2024年(令和6年)1月22日(月曜日)

土佐女は2年連続

バレーボールの県中学新人大会最終日は21日、天王体育館で男女の決勝リーグ残り4試合ずつを行い、男子は香長が12年ぶり、女子は土佐女が2年連続の優勝を果たした。

2024年(令和6年)5月20日(月曜日)

土佐女は2年連続

県高校体育大会

▽女子団体予選(40射) ①土佐女、丸の内21中③小津、安芸19中⑤中村18中⑥高知工、東17中⑧高知15中⑨追手前、国際、学芸14中⑫岡豊、山田13中⑬宿毛工12中⑭土佐、清水、土佐塾11中⑮香野10中⑯高知商6中⑰高専、高岡5中

※上位6校が決勝リーグ進出。6位の2校は競射で高知工が進出

▽決勝リーグ(20射) 小津12-6丸の内▽高知工6-4中村▽土佐女11-6安芸▽高知工7-5丸の内▽小津11-8安芸▽中村7-7土佐女(競射)2-2、3-3、2-1

0▽安芸12-8丸の内▽土佐女14-5高知工▽小津9-7中村▽土佐女11-7丸の内▽安芸9-8中村▽小津9-7高知工▽丸の内10-9中村▽土佐女14-8小津▽安芸10-4高知工

【順位】①土佐女(坂口、詫間、天羽、山下、久保田) 4勝1敗②小津4勝1敗③安芸3勝2敗④高知工2勝3敗⑤丸の内1勝4敗⑥中村1勝4敗

※同勝敗は的中数による。(土佐女は2年連続26度目の優勝)

8月5日(月曜日)

2024年(令和6年)6月17日(月曜日)

全国高校総体

土佐女は予選落ち

▽女子団体予選(20射) 土佐女8中(坂口1中、詫間2中、天羽2中、山下1中、岡村2中) 〓落選

四国高校選手権

▽女子団体予選 ①三本松、西条、聖力タリナ24中④土佐女23中⑤富岡西22中⑥城ノ内21中⑦宇和島南、小津20中⑨高松一19中⑩松山南18中⑪安芸、城南17中⑬高松南16中⑭徳島市立15中⑮高松東14中⑯高知工12中

※上位8校が決勝トーナメント進出

▽決勝トーナメント1回戦 三本松14-6宇和島南▽富岡西11-11土佐女(競射)7-6 〓西条10-10城ノ内(競射)2-1 〓小津11-8聖力タリナ

2024年(令和6年)7月22日(月曜日)

県中学総体

▽女子団体予選(36射) ①土佐塾19中②県安芸18中③土佐B15中④土佐女14中⑤土佐A11中⑥国際A10中⑦国際D、土佐C8中⑧国際C6中⑩国際E、県中村5中⑫高知国際B4中

※上位4チームが準決勝進出

▽準決勝(12射) 土佐女6-4 土佐B 県安芸8-6 土佐塾

▽決勝 土佐女 土佐女 県安芸 5-4 野々宮1、西山1、佐藤2、安岡2、(県安芸は3年ぶり2度目の優勝)

▽同個人 ①赤石侑姫(土佐塾)8中②傍土(同)8中③佐藤(県安芸)8中

※1-3位は射詰による 〓競技終了

2024年(令和6年)8月5日(月曜日)

土佐女2位

弓道 四国中学生大会

弓道の四国中学生大会は4日、鳴門・大塚スポートパーク弓道場で開かれ、女子団体で県安芸が優勝、土佐女が準優勝した。予選を土佐女が1位、県安芸が3位通過。両者は決勝で対戦し、県安芸が土佐女を6-5で退けた。

▽女子団体予選(24射) ①土佐女12中③県安芸11中⑤土佐B9中⑦土佐塾7中⑩国際5中⑭土佐A4中

※土佐女、県安芸が決勝トーナメント進出

▽決勝トーナメント1回戦(12射) 県安芸5-5池田(徳島)〓競射3-2 土佐女5-4城西(徳島)

▽決勝 土佐女 土佐女 県安芸 6-5 野々宮3、西山3、佐藤2、安岡1、(野々宮Q、亥角2)

▽同個人(8射) ④野々宮(土佐女)6中

県高校体育大会

テニス

2024年(令和6年)5月19日(日曜日)

▽女子団体1回戦 清水3-0 橋原▽追手前2-1 学芸
▽高知商3-0 須崎
▽準々決勝 土佐3-0 清水
水▽土佐2-1 国際▽土佐女2-1 追手前▽高知3-0 高知商
▽準決勝 土佐2-0 土佐壘 高知2-0 土佐女

5月21日(火曜日)

▽女子シングルス準々決勝
杉村(土佐女)6-0 中城(土佐壘)▽田口(土佐)6-1 4 平野(土佐)▽入田(高知)6-1 0 山口(国際)▽松本(中央)6-1 0 井上(土佐)
▽準決勝
杉村8-0 田口
入田8-4 松本
▽3位決定戦
田口6-2 松本
▽決勝
杉村8-4 入田

杉村(土佐女) V

2024年(令和6年)6月16日(日曜日)

▽女子団体1回戦 新田2-1 阿南高専▽英明3-0 土佐壘▽城南3-0 済美▽高知2-1 高松桜井▽高松北3-0 徳島市立▽松山西2-1 土佐▽松山東3-0 香川中央▽徳島商3-0 土佐女

四国高校選手権

2024年(令和6年)8月7日(水曜日)

▽女子シングルス1回戦
鳥さゆり(新橋・開)6-2 杉村リナ(土佐女)
志国際



2024年(令和6年)6月11日(火曜日)

【女子】
▽100歳1年 近藤鈴(三里)13秒81▽同2年 下元玲奈(土佐女)13秒50▽同3年 長谷川美咲(土佐)13秒17▽200歳 長谷川美咲(土佐)27秒16▽800歳 阿佐志空(城北)2分30秒23▽1500歳1年 沼田京香(学芸)6分11秒69▽同2年 坂東真菜(旭)5分36秒80▽同3年 阿佐志空(城北)5分15秒65▽100歳障害 仁尾摘麦(土佐)15秒51▽400歳リレ1土佐(岡林)長谷川伊藤仁尾51秒91▽走り高跳び 橋本七愛音(付蔵)1尺30寸▽同1年 笹岡晏朱(大津)1尺10寸▽走り幅跳び 下元玲奈(土佐女)4尺81寸▽同1年 小松陽果理(朝倉)4尺14寸

◆高知 陸上

県中学総体 各地区大会 8、9日

8月5日(月曜日)

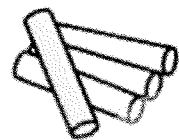
▽100歳2年 ①小枝涼香(愛)土壘13秒16 ②下元(土佐女)13秒55

四国中学総体

7月22日(月曜日)

▽100歳2年 ①西川璃香(大津)13秒35 ②下元(土佐女)13秒43 ③田村(高岡)13秒49

県中学総体



2023年(令和5年)11月16日(木曜日)

県勢3人東アジアユースへ

ライフル射撃
代表選考会

ライフル射撃の東アジアユースエアガン代表選考会が11月12日、東京都NTCイースト射撃場で行われた。女子3人が出場した県協会所属選手は、10歳エアピストルの阿部花論(土佐女高)が1位、山崎一葉(高知高)が3位。



2023年(令和5年)9月12日(火曜日)

ライフル射撃
JOCジュニア五輪杯

ライフル射撃のJOCジュニアオリンピックカップ兼ISSFジュニア選手権が8月10日、埼玉県長瀬射撃場で行われ、女子10歳エアピストル6発で山崎一葉(高知高)が2位、阿部花論(土佐女高)が3位、山本穂香(小津高)が7位と、県勢3人が入賞を果たした。

▽女子10歳エアピストル6発
②山崎(高知高) 550点③阿部(土佐女高) 550点⑦山本(小津高) 535点

2023年(令和5年)12月15日(金曜日)

阿部(土佐女高)2位

女子エアピストル国別団体

ライフル射撃
東アジアユースエアガン

ライフル射撃の東アジアユースエアガン大会が11月15日、栃木県ライフル射撃場で行われ、県勢は女子10歳エアピストルの山崎一葉(高知高)と阿部花論(土佐女高)が東晴七(宇和島南中等教育学校)と組んだ国別団体戦で準優勝した。

同種目の個人戦は阿部が4位、山崎が5位に入った。混合10歳エアピストルの山崎・内田翼(長崎北高)組は3位決定戦で韓国組に敗れてメダルに届かず、4位。森田馨介(茨城・取手一高)・阿部組は7位に入った。

▽女子10歳エアピストル6発本選
④山崎(高知高) 544点⑧阿部(土佐女高) 538点
以上ファイナル進出

▽ファイナル
④阿部196・0点⑤山崎173・6点

2024年(令和6年)4月30日(火曜日)

久野(土佐女)V

◆新体操 県高校春季大会
▽同個人総合 ①久野杏莉(土佐女)33・60点(クラブ)18・00、リボン15・60②的場(高知)31・85点③北村(土佐女)28・70点④西原(高知)26・50点⑤長井(国際)13・65点⑥岡崎(同)13・60点

▽種目別1位 クラブ久野杏莉(土佐女)18・00点
リボン1的場初菜(高知)15・75点

県高校体育大会

5月20日(月曜日)

▽同個人総合 ①的場初菜(高知)36・65点(クラブ)19・10、リボン17・55②久野土佐女34・40点③北村(同)30・75点

▽種目別1位 クラブ1的場初菜(高知)19・10点
リボン久野杏莉(土佐女)17・95点

年重ね深まる音 土佐女子OG93人演奏



●のびと演奏する土佐女子中高のOGたち。3曲を披露した(高知市本町4丁目)の県民文化ホール。森本直由美さんの指揮で練習するOG。ひりひりとした緊張感が漂う(同市追分筋2丁目)の土佐女子中高

50回定演記念 レジエント森本さん指揮

土佐女子中高校吹奏楽部の第50回定期演奏会が16日夜、高知市の県民文化ホールで開かれた。卒業生の特別ステージには、部の「レジエント」と評される森本直由美さん(62)＝埼玉県久喜市＝も登場。63歳までの卒業生93人がタクトに合わせて熱い演奏を披露し、万雷の拍手を浴びた。

1973年創部。節目の演奏会を祝おうと高校7代目の副部長、藤田えりさん(61)＝高知市旭町3丁目＝らが企画し、東京や千葉、大阪、福岡など県内外のOGが集った。指揮をお願いしたのは、同級生で部長だった森本さん。1985～2007年には母の顧問を務め、全日本吹奏

楽コンクールの中学や高校部門に計9度出場。1998年には高校を金賞に導くなど、実力者だ。結婚後に高知を離れ、今は埼玉の私立高校で指導している。母校での全体練習は5月に始まった。参加者は現役の音楽講師や30年以上楽器に触れていなかったという人らさま

表情で答えていた。練習場には現顧問、織田朱美さん(46)の姿も。出演はパスするつもりだったが、恩師の森本さんに「参加しないなんて許さない」と言われ、トランペットを吹くことになったという。

練習は演奏会の前日まで4回と少なかつたが「先輩方はもちろん、先生の指揮がすごい。練習」ことに音が深まって、何度も鳥肌が立った。

いざ本番。定番の「聖者の行進」でスタート。打楽器隊が舞台前方に歩み出て、演奏しながら踊ると会場は大いに盛り上がった。新入生が最初にならず練習するという「バラの謝肉祭」が続ぎ、最後は荒井由実の「驕りゆく部屋」。会場に、「いろんな経験を積んだ人たちがから出せる(森本さん)という音をしっかりと響かせ、息の合った演奏が終了。森本さんに花束が贈られ、大きな拍手が上がっていた。

高校3年の上村彩華部長(17)は部の先輩でもある母、友希さん(17)がステージに立つ姿を初めて見たそうで「圧倒されました。いつか一緒に立ちたい」と興奮の表情だった。ソロを披露したプロのフルート奏者、泉真由さん(39)＝川崎市＝は「森本先生はとても厳しかったけど、音楽に向き合う姿勢を教えてくださいました。中2で初めてソロ演奏した時

の気持ちがよくがえりました。打楽器を担当した太田寿英さん(48)は「一緒に頑張ったメンバーや先生と並んでるだけで、ぐっとくるものがあった」と涙。旧友と「(気分は)セーラー服着たよね」と笑い合った。

企画した藤田さんは「技術は落ちたけど、表現とか曲の理解は深まっている。現役生にも刺激になったと思う」と語り「森本さんの期待にも応えられたかな。森本さんは「技術を超える心の演奏。卒業生のパワー、すごかったです」とたたえ「現役生もクリアな音を持つてる。いい音楽をつくり上げてほしい」とエールを送った。(小谷 暁)

土佐女子吹奏楽50年 卒業生演奏



書とダンスで県芸術祭PR 土佐女子中高生



ダイナミックな動きで字を書いた土佐女子中高書道部員ら
(高知市帯屋町2丁目)

第74回県芸術祭(9月14日~12月15日)のプレイベントとして18日、高知市の帯屋町アーケードで土佐女子中高書道部が「芸術への思いを開花させて」と、書とダンスのパフォーマンスを披露した。

この日は書道部員18人が2チームに分かれ、音楽に合わせて、頭上に掲げた大筆を勢いよく下ろしたり、両手を広げてぐるぐる回ったり。縦3枚、横5枚の紙2枚に力強い字を書き付けた。

術の花が心に広がる様子を表現しました」と息を弾ませ、「芸術祭を楽しんでください」と呼びかけた。同部が仕上げた作品は芸術祭開幕日から2カ月間、同アーケードに掲示される。(相良平蔵)



2024年(令和6年)7月6日(土曜日)



怪しい儀式?

土佐女子中高吹奏楽部のOGが練習前に手を合わせ、何かに祈り始めたようです。怪しい儀式? いえいえ、呼吸に使う筋肉をやわ

らげるストレッチ。緊張がほぐれ、血圧も下がるのだとか。体操のおかげか、見事な音を響かせていました(高知市追手筋2丁目)

2023年(令和5年)10月22日(日曜日)

新聞感想文コンクール

学び深める

優秀学校賞の取り組み

グループで枕草子のキャッチコピーを考える生徒たち。読解力、表現力に加え、協調性も養われる(高知市の土佐女子高校)



土佐女子高(高知市)

自分と向き合う時間に

「枕草子を読んだことがない人に興味を持ってもらえる、いいキャッチコピーを考えてください」

9月中旬、土佐女子高校3年生の選択授業「国語表現」を担当する野村あゆみ先生の教室に響きまじった。3、4人のグループに分かれた生徒は、意見を出し合いながら「刺さる」言葉を探し、それを理解する作品をしっかりと理解する。

新聞感想文は、記事選択を含めて国語表現の授業を9時間ほど使い完成させます。今年には人工知能(AI)や対話型AI「チャットGPT」のほか、ウクライナとロシアの戦争、男性の青休などを生徒たちは選

びました。進路と関係する記事に興味を持った生徒も多くいました。

感想文作りの途中では記事に対する自分の考えを発表し、野村教師からアドバイスを受けます。家族や友人にインタビューしたり、参考図書を探したりして、参考図書を探したりして

て視野を広げる作業も毎年行われています。

社会的な出来事の中には賛否両論があるケースが少なくありません。アンテナを高く張り、さまざまな見方を知ること、生徒の考えはさらに深まります。

新聞感想文の意味について野村教師はこう話します。書くことで生徒は自分と向き合います。他の人の意見を参考にしつつ『なぜ私はそう思うの?』と。感情だけでなく、少し論理的に考え始める。だから書く時間は大事なんです」

(矢野憲州)

気持ちに寄り添う会話

土佐女子3年(高知市)

石本夕芽

2023年4月10日
・高知新聞「子ども」の声を耳を傾ける

「子ども」の声を傾ける「共感的な会話」という題が目にとまった。中学生になつて以降不登校、うつ、親との関係性に悩む人を見たり、話を聴くことが多くなった。このような心の悩みを思春期だから、反抗期だからの言葉一つでまとめたい大人が、この記事に強く共感した。記事には子どもと会話する中で話をよく聴き出す一方、話をよく聴き出す一方、親子の関係を悪化させてしまう可能性が高いが、共感的な会話を意識し、積み重ねれば、子どもの視点で物事を捉え、親としての冷静さを保つことができ、建設的な親子の関係性構築へとつながっていくと述べられていた。

私がこの記事を読んでまず始めに考えたことは、自分の幼少期に自分の親がどう接してくれたかだった。母に怒られたことはなく、味方をするわけでもなく、話を聴いてくれた。それは確かに共感的な会話だったと思う。子どもにとって家庭や学校などの環境は自己を形成していく場所

ほしい訳ではないとも思う。話を聴いてくれるだけでスッキリする人もいれば、共感してくれることで気持ちを落ち着かせることができる人もいろいろいる。「共感する」だけでなく、相手と自分の境界線を見極めながら、相手と「会話する」ことが大事なのだと思う。意見を全肯定することも、もちろん全否定することもできないのが「共感的な会話」なのだと思う。

この記事では、英オックスフォード大の研究者が発表した論文で共感的な会話をすることで親が今まで知らなかった子どもの一面を理解できるようなことも示したことが書かれていた。親という大人の立場になり価値観や感じ方も子どもとこの間は変わっていく。それは当たり前のことだろう。しかし、子どもには子どもの考えがあり、逆に大人と同じように不安もある。自分が大人になり、親になった時、いつでも余裕がある人になれないかもしれない。忙しさで自分の事に手一杯のこともあることだろう。それでも、子どもと話す時は共感的な会話を基本として話していきたい。人にはそれぞれ個性があり、どのような会話が相手に寄り添えるかができる。一人一人をよく見て、今後の生活に活かしていきたい。

高知新聞 2024年(令和6年)6月21日



歌声を披露する示野由佳さん
(高知市追手筋2丁目の土佐女子中学校)

海外在住の音楽家
高校で歌声披露
高知市の土佐女子中
高知市出身でオーストリア・ウィーン在住の音楽家、示野由佳さんが19日、母校の土佐女子中学校(同市)を訪れ、中学1年生98人に出席授業を行った。
同校では昨年から「土佐女子学」として卒業生が講演しており、今回で4回目。示野さんは岡山県の作陽音楽大学を卒業後、ウィーンへ。ソプラノ歌手として国内外のオペラやコンサ

ートに出演している。
示野さんは「オペラってどんなのだと思う？」と質問。生徒たちに透き通った歌声を披露すると「すごい」と驚きの声がかぼれた。ウィーンのオーディションでは「外国人は主役にはできない」「西洋人だったら選ばれたのにね」など差別的な発言を受けたと明かし、最後は「人間はみな同じ。友達をいじめたり、悪口を言ったりせず、仲良くして」と訴えた。
初めて聞いたという塩見野々花さん(16)は「声量が

2024年(令和6年)7月13日(土曜日)

子宮頸がん予防
ワクチン接種を
県医師会 高中生に講演
県医師会は12日、子宮頸がんを予防するヒトパピロームウイルス(HPV)ワクチン接種に関する講演を高知市の土佐女子中学校で行った。常任理事の吉川清志医師が、終業式で体育館に集まった約700人の生徒に早期接種を呼びかけた。
1997年4月2日〜2008年4月1日生まれの女性を対象にした無料の「キャッチアップ接種」が、来年3月で終了するため企画。国内の接種率は低迷しており、県医師会は7月下旬からテレビCMでも

すじかった。どうやった「出せるのか不思議」と話して、あんなにきれいな声を聞いた。(小谷 暁)

PRする。
吉川氏は、HPVワクチンの接種が進んでいる欧米で子宮頸がんが減っているのに対し、日本では患者が増えている現状を説明。女性の1・3%が罹患し、年間約2900人が死亡しているとし、「若い母親の年代が亡くなっている。9価のHPVワクチンで80〜90%を予防できると言われており、効果は大きい」と伝えた。
小学6年生から高校1年生までは無料の定期接種があることも紹介し、「体は自分で守らないといけない。できるだけ早く接種してほしい」と訴えた。

(福田一昂)

2024年(令和6年)5月17日(金曜日)



◆土佐女子高生がヘルメット着用PR 高知市の土佐女子高校の2年生10人が16日、同市追手筋2丁目の交差点で自転車に乗る際のヘルメット着用を呼び掛けた。写真。活動に参加した生徒会長の

徳岡天音さん(16)は、他校の生徒らにチラシを配り「命を守るためにぜひ着用を」と声を掛けていた。土佐女子中高はこの日、高知署に「自転車交通安全モデル校」に指定された。

2024年(令和6年)9月3日(火曜日)



第1火曜日掲載

「地域の細かい情報があるのが地元紙の強みだな」と思う」と話す西村菜々さん(南国市岡豊町の県赤十字血液センター)



高知新聞

高知大学を卒業し、県外で3年近く働いた後、やっぱり地元に戻りたいと昨年春にUターン転職した。所属は、献血推進課。医療に欠かせない血液を提供してもらうため、献血バスの配車計画を立て、役場や企業、団体

西村菜々さん(26) 県赤十字血液センター職員 高知市相模町

担当地域の話題チェック

高知新聞は、いづれ先との調整などを担っている。 「血液の用途で一番多いのは、がんの治療。毎日使われていくものですが、少子高齢化や若い人の献血離れで、献血者をどう集めるかが一番大変な仕事です」 担当地域は、いの町以西の県西部。あいさつや打ち合わせで回るため、情報収集の一環として、今春新聞を取り始めた。「地域のイベント、市町村の人事異動や議会のこと、会社さんの取り組み」。高知を少し離れていたのが高知の話題を追いかかったのと、人の動きをチェックすれば、より多くの人に献血に来てもらう方法が考えられるかなど。先方の担当さんと、話の取っかかりにも使えますね」 新聞は小学生の頃から家や学校で身近な存在で、4コマ漫画「きんこん土佐日記」が面白くて毎日読むうち、自然とニュースの見出しも追うようになった。 「最近気になる記事は『ちいさなおと』。地元紙じゃないとできないな、というものが好きで、高知大創立75周年の特集とか母校関係も見ますね。6月に紙面に大きく載った土佐女子中高校・吹奏楽部第50回定期演奏会には、自身もOGとして出演していた。

2024年(令和6年)9月12日(木曜日)

もともと「お菓子の箱の原材料まで一つ一つ読む」ほど活字好き。今春、地元の新聞販売所主催の読書会に誘われて足を運んだ。近所ですが、普段関わりのない方たちと話せてすごく新鮮だった」と喜ぶ。 本も新聞も、紙派。新聞は一日の終わりに読むことが多い。「寝る前は文字を見ていたのでも」と朗らかに語った。(徳澄裕子)

阿部(県協会)AP優勝 阿部「素の自分」で日本一

ユース年代のトップランカーが、21歳以下の日本一を射止めた。女子エアピストルで、ジュニア日本記録に3点と迫った阿部。同種目県勢初の金字塔に「一発一発、素の自分で撃てた。楽しかった」と充実感に浸った。 ライバルを尻目に、初射から次々と真ん中を撃ち抜いた。1人ずつ脱落していく8人のファイナルでもペースは崩れない。「幽体離脱して、撃つてる自分を見ているよう

右手首の炎症で引退も覚悟した中高時代の経験を経て、「人生を懸けたい」と思えるようになった」と阿部。これが最後でも満足、と言える射撃を究めたい」とさらなる飛躍を誓った。(横田幸成)

でした」と最後まで真ん中に決めた。 今春、土佐女高を卒業し、社会人選手として競技を続ける。就職の準備なども多忙で練習量が激減し、銃を止める筋力も落ちた。しかし、夏の記録会では中学2年以來という自己タイの588点。周囲の期待に応えなげや、という重圧を感じなくなりました。銃を握り始めた頃のように、競技を楽しめていることが好結果につながった。



「自分の子ども土佐女子に行かせたい」という卒業生も多く、その伝統が強みです」と語る浜田美穂校長
(高知市道手筋2丁目の土佐女子校)

女子校の存在意義って？

土佐女中高・浜田校長に聞く

性差とらわれず自立心育む

社会のジェンダー平等意識が高まる中、全国で女子校共学化が進んでいる。少子化などの私立校も生徒募集に苦戦しているからだ。四国の女子校は創立100年超の土佐女子(高知市)、清和女子(南国市)、松山東雲(松山市)の3校のみに。女性だけに門戸を開く女子校の存在意義とは。土佐女子中高卒で同校教諭も務めた浜田美穂校長(76)に聞いた。

浜田校長は土佐女子中で卓球を始め、1973年、26歳で世界大会ダブルスを制した元卓球世界王者だ。「地方の女子校ながら東京五輪のシンクロ板飛び込みの宮本葉月選手のほか、陸上、バレーでオリンピックを輩出している。中学生も高校生と練習に励める中高一貫の良さがある」

「女子校や女子教育が現代の社会でどのような意味を持つのか常に考えている。文部科学省の調査では全国で女子校はこの20年間で半減しており、岡山山陽女子などの伝統校も共学に。経営を考えて踏み切る学校が多いことも承知している」という。

ただ、女子校の存在には「大きな意義がある」と強調する。

「女性だけの環境で性差を気にせず、何事も思い切り挑戦できる6年間は貴重です。男だから女だからという性別役割分担の考えにとらわれず、自分らしさを発揮できる。例えば、運動会、生徒会も一丸でやり、リーダーも務める。力仕事もみんなやれる。社会に出て『私って女子校だから自然と自立心が付いてたんだ』と気付く」

ジェンダー・ギャップがいまだ大きい社会の中で、自立した女性を育てる女子校の役割はある、との考えだ。木戸校長も「女性が男性の活躍の陰になつてはいけない。一人

の人間として自分の能力の開花を。強く生き抜く力を」と語っていたと話す。

土佐女子は礼法、茶道、華道を情操教育として取り入れ、明治の女子校の「良妻賢母」教育を色濃く残すが、これらは「多様性の時代にも必要」と訴える。

「土佐女子の前身をつくった松寿女史は女性が裁縫で身を立てられるように教室を開き、静岡にも女子校を創設したパイオニア。土佐女子の創設者の一人、北村浩さんは『家の中では糟糠の妻、外では文明社会の婦人』を開学理念に掲げ、どちらも否定せず、偏らない。女性の活躍の場を家庭に限らず、社会全体に目を向けており、その先見性に驚く。自立心を大事にする校風は変えていません」

昨年から「土佐女子学」として中学1年生を対象に、先輩を招いた講演などキャリア教育を始めたことを紹介、こう胸を張った。

「高知でバリバリ活躍し、自分の考えをしっかりと発言している女性に出会うと、『あなた土佐女子の卒業生では？ やっぱり』と盛り上がる。約3万人の卒業生は『女子校である』ことに誇りを持っています」

(村瀬佐保)

土佐女子中学高等学校の現在

生徒数

中学校 三二〇人
高等学校 四二四人
全校 七三四人

部活動

運動部 一二部
文化部 一九部
その他 三部
合計 三四部

卒業生

三〇、七二二人

全生徒がいきいきと学校生活を送り、ひとりひとりが活躍する場所が本校にはあります。卒業後も様々な分野で大活躍しています。

社会に出て

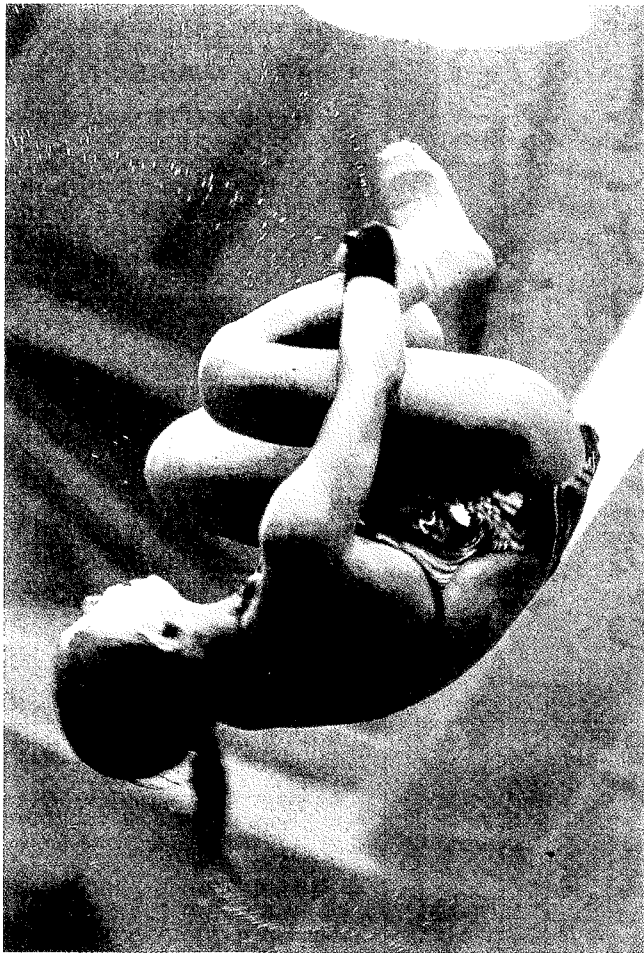
必要とされ

活躍できる

女性を育みます。

- 一九〇二年 私立高知女学校創立
- 一九〇三年 現在の追手筋に移転
- 一九〇四年 私立土佐高等女学校設立
- 一九一一年 講堂新築
- 一九二二年 創立二〇周年記念式典
- 一九二六年 土佐高等女学校と改称
- 一九三二年 校歌制定
- 一九三五年 制服が現在の親子線となる
- 一九四二年 創立四〇周年記念式典
- 一九四七年 新校歌制定
- 一九四八年 土佐第一中学高等学校と改称
- 一九五一年 土佐女子中学高等学校と改称
- 一九五二年 創立五〇周年記念式典
- 一九六二年 土佐女子寄宿舎新設
- 一九八二年 創立八〇周年記念式典
- 一九八六年 上皇陛下本校をご視察
- 二〇〇二年 創立一〇〇周年記念式典
- 二〇一〇年 南校舎、東校舎耐震工事
- 二〇一二年 土佐女子新寄宿舎落成
- 二〇一三年 新講堂・体育館落成
- 二〇一八年 新中校舎落成
- 二〇二一年 濱田美穂新学校長着任
- 二〇二二年 創立一二〇周年記念式典
- 二〇二四年 大進化中

井上進化 大技3連発



【女子高飛び込み決勝】37・30点で連覇を果たした土佐女・井上優奈(写真はいつも金沢プール)

1年生ながら高、板のまずは高でタイトル防衛は、記録用紙に記された両種目を制した衝撃的な成功した。そしてある項目を見ただけで分全中デビューから1年。て、この1年間の進化か。

書かれているのは挑戦する技の名前。この日の決勝で飛んだ3本は全

女子高飛び込みを連覇した井上優奈(金沢市の金沢プール)



全日本学生選手権
飛び込み
最優秀選手
井上優奈
栄誉

「どうしても飛びたい」「貫く

いつも通りやれた

井上優奈の話 絶対勝つというプレッシャーがあったので、終わってほっとした。緊張してはいたけど、欲張って高い点を出そうとかではなく、いつも通りやれたのが良かったと思う。

て、1年前には練習すらしていなかった。1本目が「前宙返り3回半エビ型」、2本目が「後ろ踏み切り前宙返り3回半抱え型」。そして最終3本目に60・90点の高得点を出して会場を沸かせたのが「前宙返り2回半・1回半ひねりエビ型」だ。今回出場した他の選手が誰も挑まなかった大技ばかり。2本目はバリ五輪で銀メダルを獲得した玉井陸斗が決勝で飛んだ技。入水が少し乱れて51・20点と思いつりの点数は出なかったものの、「3回半、回るのはできた」と納得の出来だった。そして3本目は、台との距離の取り方が難しい技だが、難なく決めた。今年2月、日本代表としてアジアエーシクループ選手権に出場し、3歳板飛び込みで優勝。それが大きな自信になっているようだ。決勝2本目の技について瓶子笑里佳「1本目は「やめ」といたら」と言ったそう。しかし井上は「どうしても飛びたい」。自分の考えをしっかりと持ち、貫いた。そこが一番、この1年で進化した部分かもしれない。(井上太郎)